

公開番号 公開日 出願番号 出願日	国際分類	出願人 発明者	名称 抄録
2005.021186 17.01.27 2003.186802 15.06.30	A47L 9/10	松下電器産業株式会社 保野 幹 廣瀬 徹	電気掃除機 【要約】【課題】使用時間によらず集塵性能の安定した電気掃除機を提供すること。【解決手段】集塵室18内に装着され集塵室内に取り込まれる空気中の塵埃を濾過するフィルター17aに付着した塵埃を、塵埃剥離手段21のフィルター押圧部22をフィルター17aに当接させたまま往復させて剥離するので、優れた集塵性能を維持し続ける掃除機となる。
2005.021187 17.01.27 2003.186814 15.06.30	A61L 9/16 F24F 1/02 F24F 7/00	松下電器産業株式会社 新谷 元淳 河本 恭宏	脱臭装置 【要約】【課題】臭気が拡散する前に脱臭を行うことにより、脱臭効果の飛躍的な向上を図った脱臭装置に関する。【解決手段】空気の吸気口2を下部前面に、空気の吹出口3を上面にそれぞれ設けた本体ケース1と、本体ケース内にそれぞれ設け、吸気口からの空気を通すことで空気中に含まれる臭気を除去する脱臭素子4と、空気を吸気口から吸引し、吹出口から吹出して脱臭素子に還流させる送風機5と、送風機等を制御する制御部を備え、送風機は、発生した臭気を上方に拡散する前に下向きの吸気流れを発生させて吸引するように構成した脱臭装置である。臭気を下向きの吸気流れにより拡散前に吸引し脱臭させることができる。
2005.021229 17.01.27 2003.187800 15.06.30	A61L 9/12 B65D 47/36 B65D 83/00 B65D 85/00	株式会社吉野工業所 桑原 和仁 後藤 孝之	芳香剤容器 【要約】【課題】簡単な構造で芳香成分等を徐放できると共に、収納物の密閉性に優れた揮散機構を創出することを課題とし、もって携帯も可能な芳香剤用容器を提供することを目的とする。【解決手段】有底筒状の収納容器と、この収納容器の開放端を収納物成分の徐放状の揮散可能に液密状に覆う徐放栓体を有すること、この徐放栓体を高透気性の合成樹脂材料で形成すること、にある。
2005.021239 17.01.27 2003.188050 15.06.30	A61L 9/01	東陶機器株式会社 ▲徳▼本 智憲 綿瀬 智晃 池田 猛	脱臭体 【要約】【課題】二酸化マンガンを含んだ金属酸化物と活性炭を含んだ脱臭材料において、必要最低量の脱臭材量で脱臭効率の高い脱臭体を提供する。【解決手段】少なくとも二酸化マンガんと活性炭が担体に担持された脱臭体において、前記二酸化マンガんと活性炭の担体への担持量が $30\text{ g/m}^2$ 以上 $100\text{ g/m}^2$ 以下であることにより、脱臭に寄与していなかった二酸化マンガンを活性炭を省くことができ、少量の二酸化マンガんと活性炭で脱臭性能を維持することが可能な脱臭体とした。
2005.021244 17.01.27 2003.188091 15.06.30	A47L 9/00 A47L 7/04 A47L 9/26	シャープ株式会社 松本 幸満	電気掃除機 【要約】【課題】床面の塵埃の飛散を防止するとともに排気効率を向上できる電気掃除機を提供する。【解決手段】モータ室16に隣接するコードリール室17に電動送風機19の排気を供給してコードリール室17の冷却を行う電気掃除機1において、モータ室16及びコードリール室17の後方を覆う後部カバー13を備え、電源コード21を引き出すコード出口23を後部カバー13の上部に設けるとともに、コードリール20に対面する傾斜面13bをコード出口23よりも下方に設け、外部に連通する通気孔24を傾斜面13bに形成した。
2005.021290 17.01.27 2003.189008 15.06.30	A47L 9/28	東芝テック株式会社 熊川 敬之	電気掃除機 【要約】【課題】電動送風機の過熱および作業者の違和感を防止できる電気掃除機を提供する。【解決手段】電動送風機2の吸込風量を検知する風量検知手段12を設ける。風量検知手段12で検知した吸込風量が電動送風機2の入力に対して所定値以下の状態が第1の所定時間以上継続した際に、制御手段11にて電動送風機2の入力を複数回に亘って低減させる。電動送風機2の過熱を確実に防止できるとともに、電動送風機2の入力が急激に低下することがなく、作業者の違和感を防止できる。
2005.021317 17.01.27 2003.189295 15.07.01	A61G 10/00 A61L 9/00	東芝プラントシステム株式会社 三浦 俊彦	感染防止システム 【要約】【課題】感染症患者を隔離収容する部屋等の汚染空気を負圧に吸引し、ろ過することにより病原菌やウイルスを捕獲しているが、殺菌ではなく分離であって、更に100%分離することは困難であった。【課題を解決する手段】感染症患者を隔離収容する部屋等の汚染空気を負圧に吸引し、この汚染空気をガスタービン等、内燃機関や外燃機関で焼却することにより病原菌やウイルスを100%殺菌することを可能とした。また、焼却に付帯して発電を行うことも可能とした。
2005.021319 17.01.27 2003.189351 15.07.01	A61L 9/22 B01J 19/08 B03C 3/40 B03C 3/41 B03C 3/66	松下電器産業株式会社 岩清水 正勝 清水 真 田畑 大輔 井上 雄二	空気浄化装置 【要約】【課題】放電により集塵・脱臭する空気浄化装置において、微生物やウイルスを含む空気が放電部を通過した場合でも、微生物やウイルスを破壊または不活化させることができる空気浄化装置を提供することを目的としたものである。【解決手段】放電電極2と対向電極3を設け、両電極間に高周波数の極小パルス幅の高電圧を印加させる高周波数極少パルス幅高電圧印加装置4と前記放電電極に突起11を設け、前記両電極間でストリーマ放電を発生させ電子等の高速飛散によりその領域を通過する空気中の微生物を破壊または不活化させる。
2005.021341	A47J 31/057	富士電機リテイルシステム	飲料抽出装置